

# 平成27年度 早岐中学校の研究計画

## 1 研究主題

主題 『生き生きと意欲的に学び合う生徒を育成する授業の創造』  
副主題 ～協同的な学びの中で、他者との関わりを重視し、より質の高い学びを追究する～

## 2 具体的取組

### (1)協同的な学び（公開授業及び授業研究会の実施）

- ① 全体研修・・・全職員で公開授業学級を参観する。授業者を各学年から1名（年3回、外部講師：稲葉先生他の招聘）
- ② 先進校視察（県内外へ同様の取組をしている学校に視察し、全職員で共有する）

### (2)支援が必要な生徒の把握（アセスの実施）

- ① 全体研修・・・夏休みの研修で全体への共通理解と支援が必要な生徒の共通理解を図る（特活部会と連携）
- ② アセスの実施（4月、7月、12月に学活の時間に実施）

### (3)特別支援教育研修

- ① 全体研修・・・特別支援学校の先生による校内巡視と支援の仕方の共有化（特別支援コーディネーターとの連携）

### (4)教科研修

- ① 教科研修（理科）・・・「エネルギー教育」（全体に連絡し、共有を図る）（教科主任との連携）
- ② ICTなどの研修（プレゼンテーション、教材提示装置、電子黒板など）

## 3 年間の校内研修実施予定

4月	3日	・研究概要説明と研究計画の説明	
4月		・アセスの実施（各学級、学活の時間に実施）	
6月	25日	・全体授業研修会（3年生）稲葉先生来校	3年（ ）
7月		・アセスの実施（各学級、学活の時間に実施）	
8月	夏休み	・アセスについての研修会	
8月	夏休み	・アクティブラーニングの研修会（事例研究～波佐見中）	
10月		・特別支援教育研修（講師による校内巡視）	
11月		・全体授業研修会（2年生）藤井先生？（長崎大学）	2年（ ）
12月		・アセスの実施（各学級、学活の時間に実施）	
2月	18日	・全体授業研修会（1年生）稲葉先生来校	1年（ ）
2月		・本年度の反省、次年度の計画	

★伝達研修会は出張後に逐次設定する（時間がとれない時はメール配信）

### ◎全体研修会（授業研究会）の視点◎

授業者

- ・授業レシピ（略案）を作成し、生徒の座席を明記する

- 授業のどこで「グループ学習」を取り入れるかを示す
- ジャンプの課題を設定する

#### 参観者

- 教師を見るのではなく、子どもを見る  
(子どもがどう学んでいたかという事実を研究する)  
～子どもの反応や状況に目をやる～  
→授業研究会で全員で共有する



